第5回審議会での質問に対する回答(回答保留分のみ)

番号	質問	回答
1	君島委員 合併時に職員数537人であったものが今476人。これはいわゆる正職員と理解しておるが、会計年度任用職員は現在何人か。	回答担当課:総務課 令和3年10月1日現在で、669人(正職員479人、合計1,148人)
2	君島委員 600名程の会計年度任用職員はどういう仕事に就いているのか。	回答担当課:総務課 保育士、一般事務補助、給食調理員、栄養士、保健師等
3	君島委員 保育所の保母さんの内、会計年度任用職員はどれぐらいか。	回答担当課:総務課 令和3年10月1日現在で、232人(正職員70人、合計302人)
4	君島委員 恒常的な業務に会計年度任用職員がどのくらい採用されているのか。	回答担当課: 保育士243名、一般事務補助106名、給食調理員14名、栄養士9名、保健師 6名
5	君島委員 地方税のうち市税の収入は、総額で9%減っている。そのうち個人市民税は あまり変わりないが法人市民税がガクンと落ちてるがその理由は。	回答担当課:財政課 別紙のとおり
6	君島委員 公債費負担比率が19.3%で、前年の15.6%より悪化しているがその理由 は。	
7	春日委員 千曲市の歳出について、岡山県総社市は人口67,000人で、歳入と歳出が 260億円で総務費は32億円。ところが千曲市の総務費は89億円。防災・農 林・公共土木・消防はほぼ同じだが、なぜ千曲市の総務費は89億円もあるの か。	

番号	質問	回答
9	春日委員 事業者などに補助金を出して、目標1000人とか1500人の障がい者を雇用するというような障害者雇用推進協議会を作っている市町村もあるが、千曲市はどのようにしているのか。 是非、障がい者雇用推進条例を千曲市にも設置していただきたい。	回答担当課:産業振興課・福祉課市では、合併以降、「千曲市心身障害者雇用促進奨励金交付要綱」を設け、市内に事業所を有する事業主が市内に居住する心身障害者を常時雇用した場合、事業所に奨励金を交付し、身体障害、知的障害、精神障害、その他の心身の機能の障害がある方の雇用の促進を図っています。また、福祉施設の利用者の一般就労への移行を進め、地域生活を送ることができるようになることを目指し、就労系サービス事業所の活用相談や促進、また千曲・坂城地域自立協議会において地域体制の充実・確保等の協議を行っております。 ご提案の「障がい者雇用推進条例」を制定している自治体の多くは、県や政令指定都市であることから、千曲市としては、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、支援を進めていきたいと考えています。
10	君島委員、宮澤会長 現在、都市公園が45箇所。自治会あるいは区の数がトータルで71~72だと思うが、これだとまだ自治会、区の中に都市公園が無いところが20数箇所ある。自治会、区の中で緑地公園がないところに1つでも2つでも設置していくという成果指標を載せていただきたい。	回答担当課: 都市計画課 既存公園の老朽施設改修、安全管理を図りながら、人口動態や地域における公園・緑地などの配置を考慮するとともに、地域要望を踏まえながら、着実に都市公園等の整備、管理にあたってまいります。 ⑤成果指標 指標名 基準値 目標値 指標選定の考 実績値把握方法・出典等
11	君島委員 まちづくりアドバイザーに若狭氏を委嘱したとの記事をみました。第3次総合計画とアドバイザーの方との関係はどういうことになるのか。具体的には、この計画にアドバイザーが意見を言う立場を持つのか、あるいは計画は計画として、実施段階でアドバイザーの方に意見を求めていくのか、あるいはこの審議会の答申とは全く関係ないというふうになるのか、そこを市長にお聞きしておいて頂きたい。	ます。 現時点では、まちづくりアドバイザーに対し、第三次総合計画策定に直接の 意見は求めておりませんが、これまで理事者や職員向けにアドバイスをいた